

公表日 2026年2月20日

事業所名 こばんはうすさくら 守谷教室

保護者等数(児童数) 30名 回収数 21件(割合70%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	1	1	とてもよく見てくれている。	室内の整備や清掃を徹底し、子供たちが快適に過ごせる環境を整えてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	4	0	3	その日の利用者の発達度合いによる所が大きいと思うので判断がつきません。時々ヒザにアザを作つて帰ってきてアザの経緯を聞いてもわからない事があるので人員の目がいきどどかないときがあるのかなど思うときありました。	1日に6~8名程度の職員が対応しております。専門的なスキルを持った職員も多く、今後も日々のサービス向上に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	3	0	掲示などマークで子供たちが分かりやすいようになっていますのがいいと思います。	今後も必要に応じて、掲示物やイラストを用い、定期的な点検を行い過ごしやすい環境を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	1	基本的に不満などはありません。職員の皆様はとても良く見て頂けており大変有り難く思っています。今後ともよろしくお願いいたします。	現在、毎日・週次・月次と三種類の清掃期間に分けながら美化に取り組んでおります。引き続き子供たちが快適に過ごせる環境を整えてまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20		1	1	トイレトレや食事の支援などを家庭と共に有してくれます。	現在、言語聴覚士や作業療法士などスキルを持った職員も多くいるため、専門的支援の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2	0	2	毎日プログラム表で提示されている活動を行っていただいている。	提示しているプログラムと相違がないよう、一貫した支援を行ってまいります。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2	1	1	作成されていると思います。 日頃の職員さんとの意思疎通が計画書にも反映されていると思う。	児童ご本人のニーズや、保護者様の希望や想いを適切に把握し、支援計画の作成や実際の支援に反映してまいりたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	1	1	毎回作成していただいている計画書には項目別に設定されています。	同上です。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1	プログラムを通してしっかりと支援していただき、いつもありがとうございます。	計画内容と実際の支援に相違がないよう、全職員で支援計画の内容を周知徹底し、支援に取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	2	毎日固定化されないような工夫がなされていると思います。	毎日、毎月異なるプログラムを提供できるように努めています。今後も様々な活動を実施の可否について検討して参りたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	5	10	1年以上継続して利用しているが、そのような活動をしている様子は見られない。	送迎時や必要に応じて面談などを設け、適切な説明を行ってまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	1	1	こばんさんと契約をする際に、管理者の方から説明をしていただいている。	今後も不明点や疑問点がしっかりと解消されるように、説明をしてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	4	1	1	もう少し時間を持って頂いて、より詳しい背景などが聞いたら良いなと思う。	送迎時や必要に応じて面談などを設け、適切な説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	6	7	言語聴覚士の先生に、より発語やコミュニケーションに繋がるような研修やお話を聞けると良い。	今後必要に応じて、開催を検討してまいりたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	18	2	1	1	毎回送迎時でお伝え頂いている。 HUGで日頃の様子が写真付きで分かり、助かっている。	今後もLINEや電話、送迎時などにしっかりと共有を行い、共通理解に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	4	4	1	保護者面談した際に分かりやすい資料と一緒にアドバイスをいただいた。 もっと定期的な面談をしてほしい。特に専門知識がある方からのアドバイスをしてほしい。	より適切なアドバイスや助言が出来るよう、職員の知識向上に努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	1	1	支援されていると思う。	日頃から子供たちの様子について共有を行い、より安心してご利用いただけるように努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	8	9	保護者会の開催については聞いたことがない。実際に開催されるとときには、平日仕事をしているため土日などに行ってほしい。	今後必要に応じて、開催を検討してまいりたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	6	0	3	LINEで連絡を取った際に返信を頂くタイミングが遅い時がある。 基本的に連絡した当日にはご対応頂いている。	今後も適切に対応していくように、体制並びに職員の資質向上に努めてまいります。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	1	0	送迎時に毎回情報共有をしていただいている。	今後も適切に対応していくように、職員の資質向上に尽力してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	1	インスタ投稿を毎日しているため、それを見ている。 定期的な広報があるため、日頃の活動について知ることが出来ている。	継続して日頃の活動が分かるような取り組みを行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	2	特に個人情報について問題を聞いたことが無い。	十分に配慮・対応してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	2	3	避難訓練は毎月行なわれている様子があるため、実施されているのだと思う。	保護者様へ周知についても適宜適切に対応できるようにしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	1	毎月避難訓練を行っていると思う。	月に2回程度の実施をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	3	日常的な怪我などはあるが、これといった大きなかげはない。	児童の安全を最優先に考え、引き続き支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3	0	6	何かあった際には送迎時に共有をいただいている。	引き続きもしもケガが発生した場合は、迅速な対応と連絡を行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	0	1	0	毎回楽しみに利用させていただいている。	子供たちが安心して過ごすことができる環境を整えてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	1	1	プログラムや活動を楽しみにして通所している	今後も子供たちが楽しいと感じる活動や取り組みを行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	1	2	満足をしているが、日数が全然入れないことには不満を感じている。	子供たちや保護者様の意見を真摯に受け止め、今後もサービス向上に努めてまいります。

公表日

2026年2月20日

事業所名

こばんはうすさくら 守谷教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	大きな部屋が二つに分かれていることによって、十分な広さで支援が出来ていると思う。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	職員が基準人員よりも多めに配置されているため、急な欠勤に対しても対応出来ている。	職員に休みが出た際にも現場が回るように職員を配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	足置きのイラストや、入ってはいけない部屋へは断ち切り禁止のイラストなどが掲示されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	毎日児童が帰宅後には掃除がされており、常にきれいになるように心がけていると思う。	秋ごろから店舗前の街路樹から落ち葉が教室前に散乱したり、それが教室に入ってくることもあるため、店舗周辺の美化にも取組んでまいります。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1	トラブルが起こりやすい（個室での対応が必要になりやすい）プログラム中に個別支援を個室で行っており、対応がおろそかになりやすい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3	毎日終礼を行っており、その日の反省にはパートでも参加している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	保護者様のご意見から、業務改善に繋がることが多々ある。	保護者向け評価表用いた業務改善に関しまして、継続して取組んでまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	毎日終礼時に意見があれば伝えることが出来ている。	職員面談がより定期的に行われることで、意見の吸い上げが出来るような環境を整えてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	2~3か月に一度くらいの頻度で、療育や児童特性に関しての研修機会が設けられている。	より療育に特化した社内研修や外部研修に、必要に応じて企画や参加をしてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	平日、公園へ行く回数が明らかに減ったと感じる。児童からも「公園へ行きたい」という声を聞く。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	2	面接時に児発管からしっかりとアセスメントを行っている。	発語がある児童は直接的な会話から、そうでない児童に関してはより周囲の人々や環境からの分析をすることで、支援計画の質を高めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	3	障害特性や療育について理解しようとする姿勢が乏しいように感じる事がある。	より多くの職員が参画できるような環境を整えてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	支援計画の見直しやケーススタディなど、職員間で行う機会がもてるといいのではないか。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3	より分かりやすいフォーマットなどがあれば良いと思います。	子供の適応行動の状況をより反映できるよう、職員全員で確認して取組んでまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2	主に児発管から保護者様への聞き取りなどをベースに、作成がされている。	地域連携などに関しては、より具体的な支援内容の設定をしてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	パートは全く関与していない。立案について話し合う場ができるとよいと考える。	個人だけでなく、よりみんなで話し合いながら行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	全く同じプログラムはあまりないが、殆どのプログラムが工作で手指操作ばかりに感じる。	引き続き様々な案を出し合ながら、多角的な支援が出来るように努めてまいります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	毎日来ている児童ばかりではないので、プログラム中に個別支援を行うと集団プログラム参加の機会を失う。	専門的な知識やスキルを持つ職員が多くいるため、よりそのスキルや経験が活きるよう支援してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	「～ができていた、～できていない」の報告はファイルを読めば分かるのでミーティング時間に無駄を感じる。	毎日の振り返りの中で、疑問に上がった課題や問題などをその場で調べていきます。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日その日の活動について記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		より多くの職員が支援計画を意識して療育に当たるよう努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	4	「4つの基本活動」について普段あまり出動のない職員への、説明理解がされていないと思う。	地域交流の活動については実施が難しい時もあるため、どのような支援方法があるかを職員間で話し合って、実施してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	場面に合った行動を取ることが難しい場合には、いくつか選択肢を与えてあげながらできそうなことを選択してもらうようにしている。	複数選択肢を出すことで、自己決定が出来るように促しを行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	そもそも担当者会議などの開催が少ないため、より開催機会を増やしていくたい。	今後も担当者会議や関係機関との連携を強化し、より良い支援を目指し取り組んでまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	4	協力医療機関もあり、医療的に何か問題があれば相談が出来る環境が整っている。市役所の方などが見学に来ることも定期的にある。	必要に応じて、関係機関との話し合いや状況共有を行い、体制を整える取り組みを行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	1	大きな問題も特になく、行えていると思う。	必要に応じて関係機関との連携を図るように務めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	3		今までの児童の様子や経過などを知るために、相互理解に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	4	まだその事例に立ち会ったことがないため、分からぬ	現状対象となる児童の在籍はありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	7		より児童発達支援センターとの連携を行い、研修などの機会を設けてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	現在は実施無し	今後必要に応じて検討・実施して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	8	現在は実施無し	地域の情報収集を行なながら、機会があれば参加を検討してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	毎日送迎時と、その日の活動についてお伝えする連絡帳（アプリ）で共通理解が図れていると思う。	引き続き児童の様子をしっかりと共有できるよう、連携ツールを使用しながら、取組んでまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	保護者面談時などに、専門的支援職員から、より専門的な助言やアドバイスを行うことが出来ている。	保護者様向けの研修は現在実施できておりませんが、今後必要に応じて検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1	契約時に管理者から、契約書と重要事項説明書を用いながら説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもの保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	面談の機会は設けているが少ないと思う。	アセスメントや日頃の情報共有をしっかりと行なうことで、ご家族の意向を確認してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	あまり児発管からの説明をするための時間は取れていないのでないかと思います。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	お問い合わせや質問があった際には、専門職員から助言を行っている。	今後も悩み事やご相談などを通して、助言や面談を行ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	3		今後必要に応じて検討・実施して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1	持ち物の管理など全体で確認できる体制を主体的に話し合うべきだと感じる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎日インスタ投稿を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1	個人情報などが乗っている書類に関しては必ずシルエットにかけるようになっている。	データ保管や文章保管など、それぞれの保管方法に合わせて適切な対応をしてまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	HUG（アプリ）やLINE、電話連絡など様々なツールを用いながら情報伝達がされている。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	10	現状は実施なし	今後必要に応じて検討・実施して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		避難訓練などに関してまして、より実際の災害に備えて緊張感がある訓練を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	BCPが適切に制定されており、定期的に訓練や研修も行われている。	避難訓練などに関してまして、より実際の災害に備えて緊張感がある訓練を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	1	契約時のアセスメントをもとに、医療的な情報は必ずご利用前に共有がされている。	今後もアセスメントシートや面談を通して、児童の状況把握に務めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	8	契約時に必ず確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		定期的な見直しや点検は今後必要だと思う。 よりみんなが安全管理を意識しているよう、定期的な研修などは必要だと思う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2	契約時に保護者様へ説明を行っている。	新規のご利用者様への説明は特に注意をしながら、疑問点が残らないように対応していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	毎日ヒヤリハットがあったかの確認を行い、記録に残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	3	子どもの権利の観点から虐待防止への理解を深める動画がより理解しやすくなつた。	前に問題を防ぐという意識を持って、日頃から定期的に研修などを行ってまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	身体拘束について契約時に説明を行っている。	緊急時の身体拘束について、今後も契約時にしっかりと説明を行い、同意の上支援を行ってまいります。